

教職員組合ニュース	No. 3	2018 年 4 月 18 日
発行	北九州市立大学教職員組合 執行委員会 〒802-8577 北九州市小倉南区北方4丁目2番1号 北九州市立大学北方キャンパス内 TEL/FAX: 093-961-0561 内線 2222 e-mail: union@kitakyu-u.ac.jp 組合ニュースバックナンバー http://www.geocities.jp/kitakyudai_union/	

退職手当削減団体交渉に関連し、 大学に抗議文を提出しました

4月13日、教職員組合は、昨年度（3月7日、14日）に行われた団体交渉に関連して、大学宛てに抗議文2通を提出しました。なお、組合が退職手当削減に合意せず交渉が決裂したことは、これまでにお知らせしたとおりです（昨年度の『組合ニュース』第41号、第42号をご参照ください）。

抗議の概要は以下の通りです。

1. 団体交渉が決裂するのは、前回、平均400万円の退職手当削減がおこなわれた2013年以来のことであり、極めて深刻な事態である。しかし、3月16日付インフォメーションを見る限り、退職手当削減を含む平成30年度予算案を審議した3月22日の経営審議会において、事務局長（団体交渉に出席していた理事）は団体交渉が決裂したことを理事長（経営審議会の議長）に報告していないのではないかと懸念される。

もし、交渉が決裂したことを理事長に伝えていないのであれば、事務局長は、理事長に対し、退職手当の削減のみならず、教員研究費の凍結・教員研究費の削減を含めた平成29年度における労働条件の大幅な改悪によって、現在、大学は教職員の士気が低下する危機的な状況にあることを理事長に伝え直せ。

2. 勤続10年で教職員に付与される就業免除1日が、就業規則に文面として記載されておらず、また、本人宛通知もなされず、事実上、取得できない状態になっている。大学側は謝罪するとともに、取得できないままに失効した（有効期限1年）教職員に対し、遡及して就業免除を申請できる権利を与えてはどうか。

提出した抗議文につきましては、添付のファイル2通をご覧ください。